

# 館内のみどころ

## 足立美術館



創設者 足立全康(1899-1990)

名園と名画が奏でる、ゆるやかな時間。  
どうぞ、ごゆっくり、おくつろぎください。

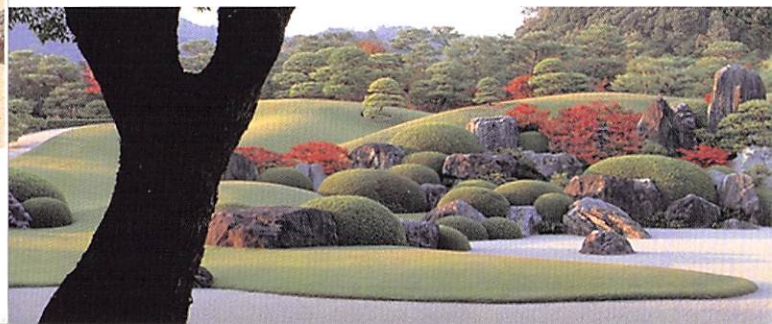
「庭園もまた一幅の絵画である」—

足立美術館の魅力を表すとすると、当館創設者で地元出身の実業家・足立全康の、この言葉に勝るものはありません。

1970年（昭和45）秋の開館以来、訪れる方々を魅了し続ける、名園と名画の絶妙な調和。創設者の庭づくりへの情熱を生き生きと伝える50,000坪の日本庭園。枯山水庭、苔庭、池庭、白砂青松庭……と、歩を進めるたびに眼前に広がる閑雅な風情は、館内の日本画と相まって訪れる方の心を静かに癒します。

館内には、横山大観をはじめ、竹内栖鳳、川合玉堂、上村松園、橋本関雪、榑原紫峰など、近代日本画壇の巨匠たちの作品を中心に、総数約2,000点を所蔵。庭園の四季にあわせて展示替えを行い、作品を順次公開しています。なかでも大観の作品は約120点を所蔵し、常時約20点を展示しています。

また、北大路魯山人の陶芸、現代日本画、童画、漆芸、木彫なども所蔵し、いずれも魅力にあふれる作品の数々をお楽しみいただくことができます。



ADACHI MUSEUM OF ART

# 【館内図】

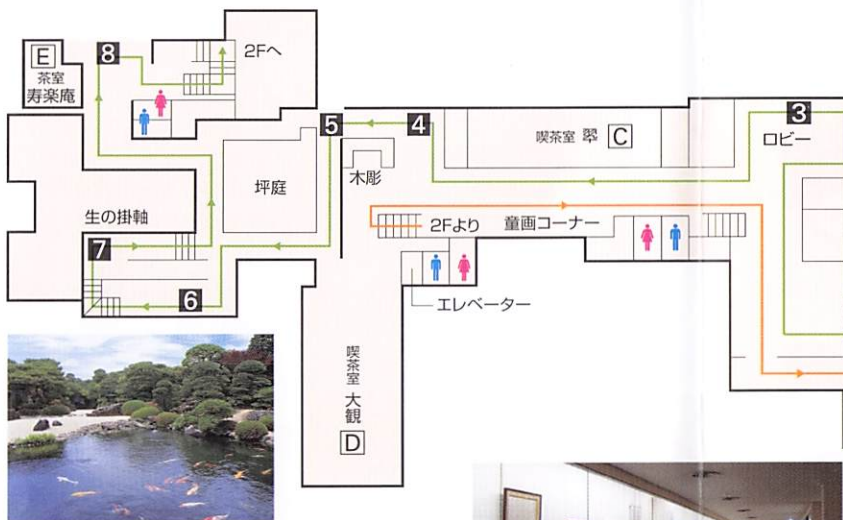
## 本館 1F



白砂青松庭



枯山水庭



池庭



小展示室

横山大観特別展示室

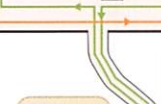
## 本館 2F



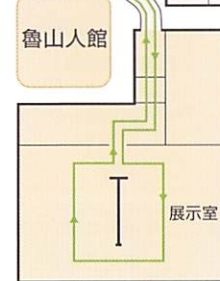
苔庭



案内する足立翁



漆芸



魯山人館



## 「庭園日本一」

ジャーナル・オブ・ジャパニーズ・ガーデニング

米国の日本庭園専門誌「The Journal of Japanese Gardening (ジャーナル・オブ・ジャパニーズ・ガーデニング)」が、全国1000か所以上の庭を対象に実施している「日本庭園ランキング」において2003年から連続して日本一に選出されています。





新館  
1F



新館展示室

新館  
2F



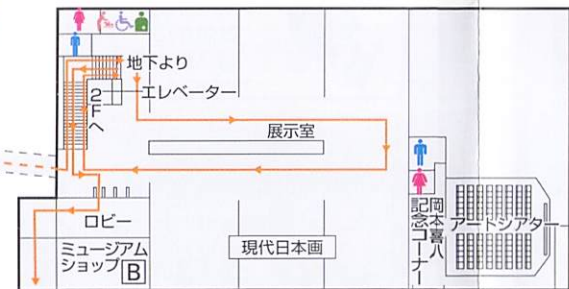
新館外観

※新館のみ、展示替え等のため休館または一部閉室することがあります。

エレベーター

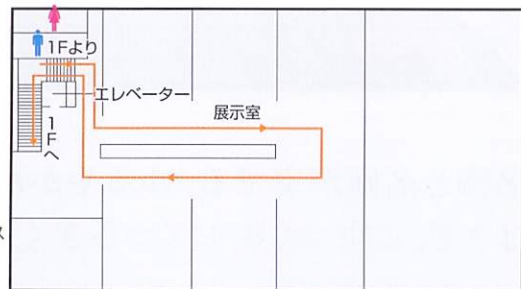
地下通路(新館へ)

正面玄関(入口)



新館出口

出入口



無料シャトルバスののりば

## 世界が認めた日本一の庭園を、お楽しみください。



### 1 歓迎の庭

お客様を最初にお迎えする庭園です。花鳥風月を愛で、自然の四季を大切にする人々の心をやさしく受けとめ、静かに皆様をお待ちしています。



### 2 苔庭

杉苔を主体とした京風の雅な庭園です。ゆるやかな曲線を描いた苔の緑と、白砂の白との対比が美しく、秋には紅葉の赤が一層の彩りを添えてくれます。



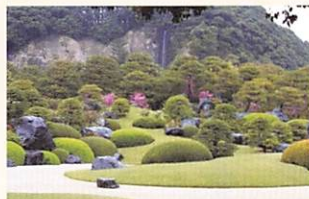
### 3 枯山水庭

自然との調和が美しい足立美術館の主庭です。中央の立石は険しい山をイメージし、そこから流れる滝水がやがて大河となる、雄大な山水の趣を表しています。



### 4 生の額絵

窓枠がそのまま額縁に。大小の木や石がバランスよく配置され、芝生の稜線が美しく、まるで琳派の絵を見ているかのような、自然による絵画です。



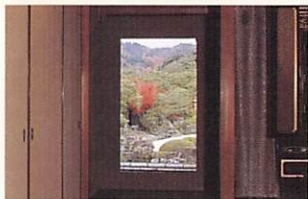
### 5 亀鶴の滝

昭和53年に開館8周年を記念して開瀾した高さ15メートルの人工の滝です。滝口から勢いよく流れ落ちる水が、庭園に動きと緊張感を与えています。



### 6 池庭

周囲との調和を考え、新しい感性と伝統的手法を用いて造られた庭園です。優雅に群泳する鯉は、見る人の心にやすらぎを与えてくれることでしょう。



### 7 生の掛軸

床の間の壁をくりぬいて、あたかも一幅の山水画が掛かっているかのようにご覧いただける、足立美術館の名物のひとつです。



### 8 白砂青松庭

横山大観の名作「白砂青松」をイメージして造られた庭園です。白砂の丘陵には、右に黒松、左に赤松を配置し、対照的な調和美を生み出しています。